

いを獲得するため低価格競争が激化している。また小売業の業況が震災以降に顕著になつたという。

調査は今年4～6月、豊橋市内の397社を対象に往復はがきによるアンケート方式で行い、224社(56・42%)から回答があつた。

# ポリ袋自動洗浄に関心

近畿農水関連 企業環境対策協 学見カネミヤ

【半田】環境機器メーカーのカネミヤ(本社半田市八軒町12-8、間瀬隆夫社長、電話0569・23・2



自動洗浄処理機「Bun-Sen」の稼働状況を見学した

871)の主力製品、廃プラ自動洗浄処理機「Bun-Sen(ブーンセン)」などを見学するため、近畿農水産関連企業環境対策協議会の役員ら9人が22日、同社を訪れた。同協議会は、食品メ

今回、カネミヤが持つ汚れたポリ袋を少ない水量で、自動洗浄する技術を見学。1袋2秒という高速で次々と出てくる洗浄されたプラスチックを手に取り、興味深く機械を見ていた。

参加者のひとり「廃棄物処理は減らして、リサイクルしたいと思

うちわでイベントPR

オカザキホーム 1万枚を製作、配布

【岡崎】木造住宅販売のオカザキホーム(本社岡崎市大塚寺町1の5の20、仲野正治社長、電話0564・65・7710)は、オリジナルうちわを製作、配布し、イベントなどのPRを進めている。昨年に引き続き1万枚を配布する予定。節電

っている。素晴らしい技術だと思つ」と感心していた。

カネミヤの環境事業部の青山亜矢子氏は、「コストをかけ廃棄物を処理するのではなく、リサイクルできる有価物にする当社の技術を知っていただければ」と、随時見学会を受け入れており、これまでも年間15件ほど実施している。



営業所管内の地域イベントなどで配布する。9月4日までの期間中に、建築計画があり新規に営業所を訪れた来場者のうち、各営業所先着100人に全国共通商品券2千円分を差し替える。

対策としてうちわに注目が集まるなか、一画のPR効果が期待される。

うちわには、このほど岡崎市内にオープンした新しいモデルハウスの、9月3、4の両日に予定する全営業所一斉イベントを紹介している。

## 私の夏休み



石川伸さん

「7月に一足早い夏休みをとり、大分県の由布院に足を運んで農作業を体験した」と話すのは、おとろふ工房いしかわ社長の石川伸さん。毎年恒例の活動で、今年も社員9人とともに参

## 例、大分で農作業体験

期間中は「携帯電話の使用を禁止にした。そのほかに「隊長」や「副隊長」などの役割を設けて、協力して自炊などを行つようにした」とユニークなルールを設定。「社員の連携強化につながる。1人のミスを補えるようになるなど、社員の教育にもつながる」と狙いを語る。

活動は3日間行い「最高の思い出」をこよひに、「感動」をこよひに

れば特典

られるほか、24日には「した新人社員や中絶局内事業者の若手社員が車券して内容を企画。